

令和 8 年度 大分市立南大分小学校 学力向上プランⅠ(8月)

【学校教育目標】友愛の心と学ぶ意欲にあふれ、心身ともにたくましく生きる児童の育成

【学校経営の重点】学校教育目標の達成に向けて、教職員が一体となり、こどもが「自分を、学校を、地域を誇りに思う」活力ある学校づくりに向け、「考え」(知)「やさしさ」(徳)「たくましさ」(体)のバランスのとれた児童の育成を目指す。

1. やさしさ UP (自他を大切に、共に協力し合う「友愛の心」の育成を目指す)
2. 考え UP (授業力の向上と学習習慣の確立をはかり、学力の定着・向上を目指す)
3. たくましさ UP (健康や安全に気を付け、すこやかな心身の育成を目指す)

【児童の実態】

- 自分の考えを論理的に説明し、こども同士で練り合いながら理解を深めていける力を付ける必要がある。
- 読解力が弱い、問題文や課題の内容の把握ができない児童がいる。○通常学級で、学習支援が必要な児童がいる。
- 学力の個人差は大きい。学年や教科によっては、下位層が多い。○家庭学習の習慣が定着していない児童もいる。

取組の評価内容		1 学期評価	2 学期の取組
1. 個に応じた指導の工夫	○単元末テストの年間平均点を、全学年 85 点以上、かつ60点以下を 8%未満にする	国語において思・判・表、算数、理科において知・技の平均点は全学年達成	・授業時間内での漢字学習や適用問題の工夫 ・家庭学習の内容の工夫(漢字・音読・プリントなどの出し方) ・タブレット端末の効果的な活用(ドリルパーク)
	○各種学力調査(4・5・6 年) 全国・大分県平均以上	5 年(国・算・理)達成 6 年(国・算) 算数は達成したが、国語は全国平均を上回り、県平均は下回った	・条件付きの作文に授業中に取り組ませていく。 ・習った言葉を使って文章をつくり、基礎・基本の確実な定着を図る。 ・具体物を使った操作活動を意識的に取り入れるなど実感を伴った知識・技能を身に付けさせる。
	○個に応じた指導の工夫(習熟度別学習、教科担任制、個別指導、青○100 点の取組等)	教員回答 100% 4 年生以上で習熟度別学習、教科担任制を実施	・個の実態を把握し、単元ごとの学習内容に応じた指導形態を工夫して行う。 ・青○100 点やり直しの取組を継続する。
2. 教員の授業力の向上	○「学校での勉強が分かる」児童 88%以上	児童回答 89.7%で目標は達成	・課題、習熟度別の指導、ICT 機器の有効活用などの工夫による「分かる、楽しい授業」を目指した授業力向上に取り組む。 ・低学力児童への個別指導を継続して取り組む。 ・単元末テストや授業の振り返りで定着状況を把握し、授業や指導法を改善する。
	○学び合いの場を工夫し、「自分や友だちの考えを伝えたり聞いたりする授業が楽しい」児童 80%以上	「伝え合う場や学び合う場を工夫している」教員回答 97.7% 「自分や友だちの考えを伝えたり聞いたりする授業が楽しい」児童回答 83.9%で目標達成	・考えたい課題の設定の工夫、こどもが困りと感じていることを課題とする。 ・協働的な学びの場を工夫し、友だちの考えを聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。 ・こどもにとって必要感のある話し合いの設定を意識する。
	○新大分スタンダードを基本にした授業展開	「教職員は、こどもにとって分かりやすい授業になるよう工夫をしている」保護者アンケート 97.5%	・新大分スタンダードを基本とした授業づくり ・単元を見通して付けたい力を明確にした授業づくりをする。 ・全校統一した「7 つの学習規律」の周知徹底
	○校内研修への主体的な取組と授業公開	校内研修を計画的に行い、全体研や学年研を行った。 年間計画・教育課程の見直しを行った。 外部講師を呼び、探究的な活動についての理解を深めた。	・全体研の指導案審議や事後研において研究主題・仮説に沿った振り返りを行う。 ・総合的な学習の時間における学びのテーマを考える時間をとりながらより良い教育課程をつくる。 ・小中合同で総合的な学習の時間の授業研を行い探究的な学びについての理解を深める。
3. 小中一貫教育の推進	○新版「家庭学習のすすめ」の定着(学年×10 分+10 分)に取り組んでいる児童 85%以上	児童 87.4%で目標達成 保護者 77.5% 教員 94.3%	・懇談や学年通信で家庭への啓発を行う。 ・「家庭学習のすすめ」によるガイダンスを継続する。 ・学習時間を記録し、時間と取組を意識させる。
	○読書の量と質の向上「読書にすすんで取り組んでいる」児童 83%以上	児童回答 78.5%で目標未達成 保護者回答 39.8% 教職員 86.4%	・すき間読書の時間を意識して設ける。 ・学年時間を共有した学校図書館利用 ・家で読書をする日を設ける。 ・読み聞かせや教室での読書環境の整備
	○豊府小や南大分中との連携、情報交換による共通な取組の実施	5 月と 8 月に、南大分中にて中学校区 3 校での情報交換を実施。	・児童の実態を共有する。 ・タブレット端末を活用した家庭学習の紹介 ・ネットモラルや持ち帰りルールの一貫した指導